



令和6年度も終わりを迎えます。保護者の皆様、地域の皆様の御協力に深く感謝申し上げます。皆様、1年間本当にありがとうございました。

18日に行われた本校卒業式での卒業生答辞と校長式辞を掲載します。

## 第15回 卒業証書授与式 卒業生答辞

厳しかった冬の寒さが和らぎ、校庭の桜の蕾も少しずつ膨らみ始めました。教室の窓に差し込む光にも暖かい春の訪れを感じます。本日は多数のご来賓の方々のご臨席を賜り、厳粛な中にも心温まる卒業証書授与式を挙げて頂き、卒業生一同、心よりお礼申し上げます。

思い返せば周南中学校での三年間はあっという間に過ぎていき、その中で数え切れないほどのたくさんの思い出ができました。周南中学校の門をくぐり、不安と期待が入り交じった入学の日とは違い、私たち一人一人は、今、感謝の思いで今この場に立っています。

初めての授業で緊張していた私たちも、仲間と共に笑い合い、少しずつ打ち解け、成長していきました。しかし、入学してまもなく私たちは授業で覚えることの多さから課題提出が遅れることがありました。また勉強と部活動の日々に疲れ、登校時間が次第に遅くなっていきました。学校生活に心が折れそうになった時、「注意三流 呼び掛け二流 自発的一流」という言葉を私たちは考え、仲間とこの困難を乗り越えようと決意を示しました。初めは周りで応援し、最後は誰からも言われなくて一人でも行動できる人になる。この目標を達成するために私たちは課題を一つ一つ解決し、一回り大きく成長したと感じています。仲間となら困難なことにも立ち向かえる。そう強く感じました。

心に残ることはたくさんありました。

結絆祭。教室では授業に真剣に取り組む友達が必死に走り、力を振り絞り、みんなで「楽しむ」姿は、自分たちの手で学校を楽しい場所に少しずつ変えていけるのではないかという生徒たちの意志と希望を感じずにはいられませんでした。

二年生。生徒会の中心が私たちの代となり、「自分たちの手で学校を変えていく。」チャレンジが始まりました。一方で一体何ができるのかというプレッシャーも抱えていました。そんな時「自分たちがわくわくするようなことをやってみよう」というアドバイスを先生からいただきました。楽しさから見いだす「可能性」を模索してみる。掲げたスローガンは「繋ぐ 周南中から絆の輪を広げよう。」能登半島地震への商業施設での募金活動は地域の方の理解と協力を得て支援に繋げることができました。また色別対抗ドッチビー大会は他学年との繋がりをもつことができました。どんな活動も仲間と協力しなければ成し遂げられないものばかりでした。生徒会長として人を導くと思っていたことが、実はみなから支えられていることに気が付きました。

中学校でのかけがえのない経験として挙げられるものに部活動があります。仲間と共に目標に向かって努力することの大切さを学びました。練習の厳しさや試合の緊張感、時には辛いこともありますが、勝利の瞬間や仲間との絆を深めることで、達成感を味わうことができました。これらの経験



は、私たちの自信となり、大きな力となりました。

そして、三年生となり全てが中学校生活最後となっていくなか、一日一日をこれまで以上に大切に一生懸命過ごした一年間でした。そのようななかでも忘れられないのは、たちばな祭です。合唱曲の難易度が上がり、最後だからこそ最高の合唱にしたいと思えば思うほど、合唱に真剣であるかを問う言葉を仲間に向けてしまうことができました。ただ歌うだけではない。「思い」の強さをクラスで競うのだということを感じました。何度も音源を聞いてきたつもりでも、音程が合っているのかさえ分からないこともありました。そうして迎えた本番。ステージに立った時の第一声。「この歌を最後まで歌いきる覚悟。」この一瞬、仲間を信じることができるよう日々の練習があったのだと感じました。三年生として最後の合唱のステージは各クラスの様々な思いに彩られ、どのクラスも思いにあふれていて、観ている人の心を揺さぶるたちばな祭になったと感じます。互いに「思い」を大切にできる仲間ができたことが最高の幸せです。



在校生の皆さん今まで私たちを支えてくださり、本当にありがとうございました。皆さんと過ごした日々も私たちにとってはかけがえのない思い出となっています。三年間はあっという間です。勉強や部活動はもちろん、友達と過ごす時間さえも大切に、一日一日を過ごしてください。社会は生きづらい世を生きやすくする世へと変化をしていく岐路にたっています。選択できる制服、「中学生らしさ」とは何かを考える校則。まさに「自分とは何か」を知るところに、生きる答えを見付け、周南中の可能性を広げていってください。

最後になりましたが、ともに喜び、時に厳しく叱って私たちを導いてくださった先生方、本当にありがとうございました。笑顔を絶やさず寄り添ってくださったかけがえのない日々を忘れません。

これまで私たちを育ててくれたお父さん、お母さん。思春期の私たちはなかなか素直になれず、私たちのためを思ってかけてくれた言葉も、なかなか受け入れることができませんでした。特に三年生になってからは、進路を決めなければならないということもあって、話し合いの中で険悪なムードになってしまうこともありました。それでも、どんな時も私たちを励まし、寄り添い、不安を和らげてくれる、その温かさが本当に嬉しくて、何度も心の中でありがとうございましたと言いました。普段は照れくさくて言えないけれど、いつも感謝しています。私たちはだんだん自立していきますが、それまでもうしばらくはお世話になります。



これから私たちは、それぞれの進路に向かって一步一步自分の足で歩いていきます。今後、大きな壁にぶつかったとしても、この周南中学校で得た多くの思い出、学び、誇りを人生の糧とし、力強く生きていきます。本当にありがとうございました。周南中学校のますますのご発展を心より祈念して、答辞といたします。

令和7年3月18日 袋井市立周南中学校 第75回卒業生代表 高橋 燈大

## 令和6年度 卒業式 校長式辞

季節は進み、木々のこずえにもふっくらとした新芽の膨らみ、躍動する春の息吹が次第に高まりつつあるこの佳き日に、新たな旅立ちを迎えました。この温かな雰囲気の中、ここにいる全ての参加者で、卒業生の旅立ちを心を込めてお祝いしたいと思います。

ただ今二二八名の生徒の皆さんに、中学校の全課程を修了した証として、卒業証書を授与いたしました。ご卒業おめでとうございます。



さて皆さんはこの数年間、数々の制限があったコロナ禍はもちろん、風水害や大地震など度重なって発生した自然災害、混迷を極める世界情勢、未解決な部分も多い環境問題など国内外に様々な課題が生じてきました。こんな時代を誰が予測できたでしょうか。予測できなかったからこそ、大きな被害にあったり、不安や混乱があったりしたわけです。今後、課題が解決されなかったり、混乱が続いたりしていくとまた新たな課題が生み出されていく…。これが「先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態」いわゆる「VUCAの時代」です。

これから生きていく時代がそのようなものであると考えると不安になってしまいがちですが、どんな変化が起こっても、どんな状況になっても、皆さんが笑顔を絶やさず、幸せに生きていくために、周南中学校では皆さんに「他者と協働する力」「主体的に行動する力」「自他を理解する力」の三つの力を身につけ、伸ばしていつてもらいたいと考えてきました。

「他者と協働する」とは、みんなで目標に向けて力を合わせて最後までやりとげること。「主体的に行動する」とは、何がより良いかを自分で考え、積極的に行動すること。「自他を理解する」とは、自分しかかけがえのない大切な存在だと認識すること、さらに、他のどの人も同じようにかけがえのない存在だと理解すること。

今からみなさんが取り組んだことの一部を紹介します。仲間と共に過ごした三年間を振り返り、自らの成長ぶりを感じ取ってほしいと思います。

クロムブックを活用し、自ら考え、対話を重ねて答えを導き出す授業

全校の意見や思いを汲み取り、作り上げた結絆祭・たちばな祭、

よりよい学校生活を目指した校則の見直し、

豊かなアイデアを次々に実践に移した生徒会活動、

日々の生活から課題を見つけ、その解決策や意見を袋井市へ提言した総合的な学習など…

どうでしょう？これらは皆さんが決めた学年テーマ「自発的一流 呼びかけ二流 注意三流」を一人一人が意識して生活し、気づき、考え、判断し、行動して勝ち取った成長の証です。また、どれも先生方が皆さんの可能性を信じ、任せ、見守り、支えながらも皆さん自身が自ら行動に移し、取り組んできたことでもあります。

こうして皆さんが中学校での成長を感じたとはいえ、卒業後も常に成長していかななくてはなりません。ではその成長を支えるものは何か？考えてみれば様々ありますが、その一つに努力があると思います。皆さんにとって、いままでの努力がすべて報われたのでしょうか？そうではないですよ。これまで報われなかった努力はたくさんあったことですし、これからもそうでしょう。「努力は嘘をつかない」、「努力は報われる」という言葉は、自らが望んだ結果を手に入れたとき、うまくいったとき、成功したとき、その人にしか感じ取ることができない言葉でしかありません。

反対に、うまくいかなかったり、失敗したりした時に出る言葉。「こんなに努力したのに…」

「こんなに頑張ったのに…」。厳しい言い方をすれば、うまくいかなかったり失敗したりしたとき、自分自身が感じているそれまでの「努力」は、実は自分にとっての100%ではなかったのかもしれない。いやその方がきっと多いはずです。「あなたが頑張ったかどうかは、周りの人が評価してくれる」アーティスティックスイミングの井村満代コーチの言葉です。



でも、結果はどうあれ、努力したこと、頑張ったことは、大なり小なり自分自身のためになっている、チャレンジしたこと自体、価値あることには変わりありません。そして、継続して取り組むことが望む結果への、成長・成功への近道であることもまた事実ではないでしょうか？今後も自分に甘んじることなく、そして失敗を恐れることなく目標に向かってチャレンジし続けていってください。大丈夫、君たちならきっとできる…。そう信じています。

終わりに、今日を限りに、この周南中学校を巣立っていく卒業生の皆さんが、夢と希望、誇りと自覚をもって力強く前進し、チャレンジしていくことで、幸多き人生を送ることを願い、式辞といたします。

## 令和7年度 年度初めの予定・提出物

### ◎4月7日(月)の予定

- ・通常登校。下校時刻 10:35(入学式準備なし生徒) 11:30(入学式準備あり生徒)  
15:10(入学式に参加する生徒)
- ・持ち物:制服、体育館シューズ、上靴、筆記用具、防災頭巾、雑巾・準制服(準備あり生徒)  
※詳細は、学年だよりなどで御確認ください。

### ◎4月7日(月)の提出物

以下のものを、生徒に返却しています。次のことを確認の上、新学級で提出してください。一緒に配布した連絡封筒に一式入れて提出をお願い致します。

○緊急連絡カード、健康調査(両面印刷) ○自宅周辺地図(新2年のみ) ○引き渡しカード

※変更があった箇所(保護者の勤め先、連絡先等)を訂正する。

※健康調査票は、各種項目の質問に回答する。

(あてはまる項目には○印、あてはまらない項目には/(斜線)を記入し、保護者確認欄に押印してください。)

※新学級、出席番号は空欄でよい。